

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

				事務事業コード		111-01-03	
事務事業名		航空写真測量事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		内線2571	
担当部署名		都市計画課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち		款	8	土木費
	施策	1	土地利用・市街地整備		項	4	都市計画費
	施策の方向	1	調和のとれた土地利用の推進		目	4	都市整備推進費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	羽曳野市全域					
	目的 (どうしたいか)	現在の土地利用状況を把握する。					
	手段 (事業内容)	毎年の土地利用状況の変化を確認するため、市域全域の航空写真撮影を行い、航空写真図及びデジタルオルソ画像を作成する。					

予算・決算額		(単位:千円)			※主な内訳(令和3年度決算)※
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 航空写真測量委託料 4,895千円 【特定財源】
当初予算額	事業費	5,554	5,555	5,698	
決算額	事業費	4,950	4,895	—	
	特定財源等	0	0	—	

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	写真撮影回数	単位	回
指標の説明	一年間に撮影を行う回数		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	1	1	1
実績	1	1	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	現況航空写真作成率	単位	%
指標の説明	土地利用状況の基礎資料の作成		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	100	100	100
実績	100	100	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題) 撮影された航空写真は、土地利用状況の経年での変化の把握や、地形図作成時の基礎資料となる。また、課税資料等に使用するなど、本課以外の部署でも活用されており、必要な業務である。 今後も正確な現況把握に努めるとともに、競争入札を徹底することによりコスト削減に努める。	

今後の改善内容
(令和4年度以後の事業実施への改善内容)

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

				事務事業コード		112-01-02	
事務事業名		生産緑地関連事務事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)	
				連絡先		内線2571	
担当部署名		都市計画課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち		款	8	土木費
	施策	1	土地利用・市街地整備		項	4	都市計画費
	施策の方向	2	良好な市街地の形成		目	4	都市整備推進費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	生産緑地					
	目的 (どうしたいか)	公共事業用地、及び市街化区域内の緑地として、農地の適正な保全を図ることにより、良好な都市環境を形成する。					
	手段 (事業内容)	・買取申出等がなされた生産緑地についての事務処理 ・生産緑地の解除・変更に伴う都市計画変更等の手続き ・特定生産緑地の指定手続き					

予算・決算額		(単位：千円)			≪主な内訳(令和3年度決算)≫	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 【特定財源】	
当初予算額	事業費	0	0	0		
決算額	事業費	0	0	—		
	特定 財源等	0	0	—		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	指定面積	単位	ha
指標の説明	生産緑地として指定している面積(小数点第2位四捨五入)		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	39.6	39.4	37.0
実績	39.4	37.0	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	増減率	単位	%
指標の説明	活動指標の目標に対する実績の増減割合		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	±0	±0	±0
実績	-1	-6	-

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) 生産緑地法に基づき、事務が適正に管理されている。市街化区域内の農地は減少傾向にあるが、所在する地域については、その緑地機能を確保しつつ、都市農業と調和した良好な住環境の形成を図っていると考ええる。又、今後当初指定から30年が到来する生産緑地に対して、令和2年4月より特定生産緑地の指定同意書の受付け等を行っており、当事務についても適正な処理を進めていく。		(令和4年度以後の事業実施への改善内容)

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

				事務事業コード		112-02-01	
事務事業名		地区計画にかかる運用・調整事務事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)	
				連絡先		内線2571	
担当部署名		都市計画課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち		款	8	土木費
	施策	1	土地利用・市街地整備		項	4	都市計画費
	施策の方向	2	良好な市街地の形成		目	4	都市整備推進費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	羽曳野市全域					
	目的 (どうしたいか)	地域の実情に応じたきめ細やかなまちづくりを推進する。					
	手段 (事業内容)	都市計画法に基づいた地区計画提案に対し、まちづくりの基本的な方針を示した都市計画マスタープランに沿った地区計画となるよう誘導・調整し、決定・変更を行う。併せて、建築条例を制定する。また、地区計画区域内における行為の届出について、地区計画に適合しているか確認を行う。					

予算・決算額		(単位：千円)			≪主な内訳(令和3年度決算)≫	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 【特定財源】	
当初予算額	事業費	0	0	0		
決算額	事業費	0	0	—		
	特定 財源等	0	0	—		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	都市計画決定(変更)件数	単位	件
指標の説明	地区計画の決定(変更)を行った件数		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	0	1	0
実績	0	1	—

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	地区計画数	単位	件
指標の説明	決定・変更済みの地区計画数		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	12	12	12
実績	12	12	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題) 都市計画法に基づき、地区計画の提案に対し適正にその必要性を判断し事務を行うことができている。 近年において、地区計画の問い合わせが増加しているため、事務のマニュアル化等、適正な事務処理を進める。	今後の改善内容 (令和4年度以後の事業実施への改善内容)

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

				事務事業コード		113-01-01	
事務事業名		古市駅西駐車場管理事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		内線2571	
担当部署名		都市計画課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち		款	8	土木費
	施策	1	土地利用・市街地整備		項	4	都市計画費
	施策の方向	3	魅力ある交流拠点の推進		目	4	都市整備推進費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	近鉄古市駅利用者 及び 駅周辺への来訪者					
	目的 (どうしたいか)	駐車場を利用しやすい環境に整え、キスアンドライド交通やパークアンドライド交通の推進を目的として、路上駐車を解消し、歩行者の交通安全を図る。					
	手段 (事業内容)	・駐車場の日常清掃管理 ・市営古市駅西駐車場の管理運営 収容台数(時間貸し23台、月極め23台)					

予算・決算額		(単位:千円)			※主な内訳(令和3年度決算)※	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度		
当初予算額	事業費	3,294	3,356	3,435	【事業費】 機器借上料 2,092千円 需用費 778千円 委託料 228千円 【特定財源】 使用料(時間貸し) 5,463千円 使用料(月極) 2,650千円	
決算額	事業費	3,138	3,099	—		
	特定財源等	7,926	8,250	—		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	駐車可能台数	単位	台
指標の説明	時間貸しの駐車可能な台数		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	23	23	23
実績	23	23	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	駐車場使用台数	単位	台
指標の説明	一年間の駐車場の使用台数(時間貸し)		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	94,521	70,495	66,077
実績	63,996	64,982	－

※事業の参考数値等※	
時間貸し台数計(20分以内無料)	
令和2年度	
20分以内	51,340台
20分超過	12,656台
令和3年度	
20分以内	51,505台
20分超過	13,477台

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	改善して継続
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
年間の使用台数は、新型コロナウイルスの影響を受けて減少している。時間貸しにおいて20分以内の無料利用が占める割合は、利用全体の7割を超えており、本来の目的である送迎の用等にも供されていると考えられる。今後も、古市駅周辺における交通渋滞解消の一助として、効率的かつ適切な維持管理を行う。 管理体制について、古市駅東駐車場との一体的管理について検討の余地がある。	

今後の改善内容
(令和4年度以後の事業実施への改善内容)
古市駅東駐車場との一体的管理について検討

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

				事務事業コード		113-01-02	
事務事業名		古市駅東駐車場管理事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		内線2571	
担当部署名		都市計画課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち		款	8	土木費
	施策	1	土地利用・市街地整備		項	4	都市計画費
	施策の方向	3	魅力ある交流拠点の推進		目	4	都市整備推進費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	近鉄古市駅利用者 及び 駅周辺への来訪者					
	目的 (どうしたいか)	駐車場を利用しやすい環境に整え、キスアンドライド交通やパークアンドライド交通の推進を目的として、路上駐車を解消し、歩行者の交通安全を図る。					
	手段 (事業内容)	・市営古市駅東駐車場の管理運営 ・収容台数(時間貸し15台)					

予算・決算額		(単位:千円)			※主な内訳(令和3年度決算)※	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 委託料 1,558千円 需用費 81千円 【特定財源】 使用料 3,483千円	
当初予算額	事業費	1,773	1,784	1,792		
決算額	事業費	1,734	1,638	—		
	特定財源等	3,072	3,483	—		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	駐車可能台数	単位	台
指標の説明	時間貸しの駐車可能な台数		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	15	15	15
実績	15	15	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	駐車場使用台数	単位	台
指標の説明	一年間の駐車場の使用台数(時間貸し)		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	18,914	17,486	17,684
実績	16,837	17,581	－

※事業の参考数値等※	
時間貸し台数計(20分以内無料)	
令和2年度	
20分以内	7,807台
20分超過	9,030台
令和3年度	
20分以内	7,661台
20分超過	9,920台

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいのか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	縮小・統合
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
年間の使用台数は、新型コロナウイルスの影響を受けて減少している。時間貸しにおいて20分を超える有料利用台数の割合が利用全体の内の5割弱を占めており、市民会館・複合館などの利用者が多いと考えられ、路上駐車等の解消に役立っていると思われる。今後も、古市駅周辺における交通渋滞解消の一助として、効率的かつ適切な維持管理を行う。管理体制等について、古市駅西駐車場と一体的な管理について検討の余地がある。	

今後の改善内容
(令和4年度以後の事業実施への改善内容)
古市駅西駐車場と一体的な管理について検討

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

				事務事業コード		113-01-03	
事務事業名		古市駅東広場管理事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		内線2571	
担当部署名		都市計画課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	1	快適でうおいのある 住みよいまち		款	8	土木費
	施策	1	土地利用・市街地整備		項	4	都市計画費
	施策の方向	3	魅力ある交流拠点の推進		目	4	都市整備推進費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	近鉄古市駅利用者 及び 駅周辺への来訪者					
	目的 (どうしたいか)	本市の魅力について情報提供する機会を設けると共に広場を利用した地域活動による賑わいの創出を図る。 また、古市駅への円滑な移動環境を確保する。					
	手段 (事業内容)	・観光案内所の設置(観光課管理) ・古市駅東広場内にスロープ設置					

予算・決算額		(単位:千円)			《主な内訳(令和3年度決算)》	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 需用費	162千円
当初予算額	事業費	594	594	1,432		
決算額	事業費	208	162	—	【特定財源】	
	特定財源等	0	0	—		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	広場利用件数	単位	件	
指標の説明	啓発活動や地域の催事での広場の利用			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		10	4	3
実績		4	3	—

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	適正管理率	単位	%	
指標の説明	適正な管理			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		100	100	100
実績		100	100	—

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	改善して継続	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) 市の玄関口として駅利用者等が安心して利用できるよう引き続き適正な管理を行う。		(令和4年度以後の事業実施への改善内容) 効率的な管理運営方法について検討する。

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

					事務事業コード		121-01-01	
事務事業名		景観地区認定・景観計画届出事務事業			事務の種類		自治事務(義務的なもの)	
					連絡先		内線2571	
担当部署名		都市計画課			予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	1	快適でうおいのある 住みよいまち			款	8	土木費
	施策	2	住環境			項	4	都市計画費
	施策の方向	1	景観形成の促進			目	4	都市整備推進費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民・事業者						
	目的 (どうしたいか)	市民、事業者等に景観形成の重要性を認識してもらうことにより、羽曳野市のもつ豊かな自然や風土を守り、市民共通の資産としての、良好な景観を創造し、又は保全する。						
	手段 (事業内容)	・景観地区内での計画建物に対し、申請内容が認定基準に適合しているかの審査を行い、認定証の交付を行う。 ・景観計画区域内での一定規模以上の計画建物等に対し、届出内容を審査し、適合の通知を行う。						

予算・決算額		(単位:千円)			《主な内訳(令和3年度決算)》
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 【特定財源】
当初予算額	事業費	0	0	0	
決算額	事業費	0	0	-	
	特定財源等	0	0	-	

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	申請及び届出件数	単位	件
指標の説明	一年間に申請及び届出のあった件数		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	21	33	26
実績	33	26	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	適正処理率	単位	%
指標の説明	申請等に係る適正な事務処理		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	100	100	100
実績	100	100	—

個別評価		
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。

総合評価	現状維持
（担当部局による総合評価の理由や課題） 景観法に基づき、申請・届出のあった計画建物等について、基準に適合しているかの審査の事務処理や、計画時点で基準に適合しない場合の指導を適正に行うことができている。 世界遺産・日本遺産の両方が存する本市において、景観の重要性を理解してもらうよう、制度周知に努める。	今後の改善内容 （令和4年度以後の事業実施への改善内容）